

# 夏から初秋にかけて 大胡・宮城・粕川地区で催される

# 祭りに出掛けよう

もうすぐ夏本番です。暑さもますます厳しくなりますが、それにも負けずに、これから市内の各地で納涼祭などが盛大に開催されます。そこで今回は、一昨年に併せた大胡・宮城・粕川地区で、夏から秋にかけてどのようなお祭りなどがあるのか、にぎわい観光課と各支所の担当者にお聞きしました。皆さんで出掛けてみませんか（担当は市民編集委員・石原、大沢）。



## 手作りの暴れ獅子が 練り歩く

大胡地区

□大胡祇園まつり  
江戸時代末期、この地にえき病が流行し、暴れ獅子を作って駆除しようとしたことが起源。約六十年もの歴史があります。毎年、獅子は地域の青年会の皆さんが手作りで製作。総勢百人が交代でこの暴れ獅子を担いで、地区内を練り歩きます。一軒一軒の家の前で獅子を上下左右に激しくうねらせながら、厄払いをする様子が見所です。  
また、子どもたちの合唱や演奏、だんべえ踊りや民謡踊り、太鼓演奏なども披露されるほか、山車やみこしも練り



ステージで民謡踊りも

出します。夜は歌謡ショーや抽選会も開催され、大いににぎわう二日間です。  
日時 7月29日(土)・30日(日)午後4時～10時 会場 JJA前橋市大胡支所駐車場など 公

公共交通機関 上毛電鉄大胡駅下車徒歩三分  
○：問い合わせは大胡祇園まつり実行委員会（前橋東部商工会本所内） ☎283312422へ。  
●暴れ獅子の担ぎ手を募集  
長い伝統を誇る大胡祇園まつりですが、近年、暴れ獅子の担ぎ手が不足しています。住んでいる地区や男女を問わず広く募集中。体力に自信のある人の参加を希望しているそうです。  
申し込み 大胡青年会・大矢さん ☎0800652219400へ。



## 演芸披露などのほか ゲームも

宮城地区

□宮城地区納涼祭  
合併前の宮城村納涼祭から数えて今年で三十一回目。昨年まで行っていた恒例の花火の打ち上げに代わり、今年は盛大に歌謡ショーを開催します。  
また、和太鼓や八木節、だんべえ踊り、よさこい踊りなどの演芸披露のほか、親子で楽しめるゲームなどもあります。  
日時 8月6日(日)午前10時～午後9時10分 会場 宮城総合運動場 公共交通機関 上毛電鉄大胡駅からデマンドバス（要予約・赤城タクシー） ☎



市無形文化財指定の獅子舞

28331222  
○：問い合わせは宮城地区納涼実行委員会（宮城支所内） ☎28321311へ。  
□大前田祭り  
会場の諏訪神社は長野県のおかめ各一人、笛四人、歌うたい三人の構成で舞を披露。また、地域の演芸なども行われます。  
日時 10月15日(日)午前10時～午後9時30分 会場 諏訪神社（大前田町） 公共交通機関 上毛電鉄北原駅下車徒歩十五分（デマンドバスの利用も可）  
○：問い合わせは宮城支所 ☎28321311へ。

諏訪大社に由来するという記録もあり、この日に奉納される獅子舞は市の無形文化財に指定されています。雄獅子三人、雌獅子一人とひよつとこ・おかめ各一人、笛四人、歌うたい三人の構成で舞を披露。また、地域の演芸なども行われます。  
日時 10月15日(日)午前10時～午後9時30分 会場 諏訪神社（大前田町） 公共交通機関 上毛電鉄北原駅下車徒歩十五分（デマンドバスの利用も可）  
○：問い合わせは宮城支所 ☎28321311へ。



## 月田のささらとして 知られる

粕川地区

□月田近戸神社の秋季祭  
この秋季祭では「ささら」の名で知られる獅子舞を奉納。六百年以上の歴史を誇るこの獅子舞は、平成十四年に県無形民俗文化財に指定されました。獅子に少年三人、笛に青年六人、歌に壮年四人という獅子連が約一時間踊ります。  
前日の二十六日は宵祭りといわれ、神社から関係者宅などを回り、秋季祭当日は神社や元氣ランド近くの外宮などで何回も舞を披露。夕方からは神社で雌を二頭の雄で争う踊りがあり、夜まで続きます。  
日時 8月27日(日)午後1時～

7時 会場 月田近戸神社（粕川町月田）など 公共交通機関 上毛電鉄膳駅下車徒歩二十分（デマンドバスの利用も可）  
○：問い合わせは粕川支所 ☎28516751へ。  
□粕川まつり  
笛や太鼓のおはやしが鳴り響く中、みこしや山車が会場を練り歩きます。また、歌謡ショーや八木節などのステージ、粕川音頭、だんべえ踊りなど盛りだくさんです。  
日時 8月6日(日)午後1時～9時30分 会場 粕川小 公共交通機関 上毛電鉄粕川駅



子どもみこしも登場

下車徒歩十分（デマンドバスの利用も可）  
○：問い合わせは粕川まつり実行委員会（前橋東部商工会粕川支所内） ☎28514983へ。